

クマクベシ、木ハ鎗ノ柄トス、皮毛ヲ帚トシ、葉ヲモ帚トス、民ノ産ヲ助ク、時珍云、南方此木有兩種、一種有皮、絲可作繩、一種小而無絲、惟葉可作帚、今案是琉球シユロナルベシ、今自琉球來者葉小也、櫻竹ハ竹類ニ載ス、

〔大和本草十一〕雜木犬櫻櫛 葉ハ梨ニ似テ小ナリ、高樹ニシテ其幹直ナリ、木堅實ナリ、葉ノ下ニ刺アリ、手ニニギリガタシ、

〔和漢三才圖會八十三〕櫻櫛俗 枳櫛 棕俗ノ 和名種略○中

按櫻櫛今處處有之、薩摩最多、剝皮毛爲帚爲繩、其葉亦細割如線而爲帚、民間多植之有利、

〔重修本草綱目啓蒙二十四〕櫻櫛 スロノキ古歌 シユロ今名 一名櫻梅北戸 櫻坡月令 櫻

樹丹鉛 若兒木名物 比閩通雅 并閩同上 棕釐詳芳 無塵子瑛邪代醉

コノ木直聳シテ枝ナシ、梢ニ葉ヲ叢生シテ冬枯レズ、夏月花穂ヲナシテ下垂ス、黃白色ニシテ魚卵ノ如シ、是ヲ櫻魚櫻筍ト云、一名木魚行厨 後實ヲ生ズ、一種トウシユロアリ、花戸ニ多シ、葉短厚ニシテ大サ四五寸アリ、蒲葵ハビロウナリ、南國ノ産ナル故、北地ニテハ生長シ難シ、九州海邊ニハ大木アリ、海島ニハ自生アリト云、木ハ櫻櫛ニ似テ葉尤長大ナリ、一葉ノ長サ五六尺、蒂モ亦四五尺、三稜ニシテ刺アリ、櫻櫛ノ葉ハ本ヨリ分レテ岐ヲナス、蒲葵ノ葉ハ本ハ續テ分レズ、故ニコノ所ヲ採テ笠ト大、スヲ蒲葵笠ト云、團扇ニ作ルヲ蒲葵扇ト云、舶來ノ蒲葵扇ハ舊葉ヲ用ユ、厚シテ光リアリ、周邊ニ天蓋絲ヲ纏ヒ、竹ヲ用テ柄トス、薩州ヨリ出ス者ハ嫩葉ヲ用テ作ル、薄シテ皺アリ破レ易シ、柄モ葉ヲ用ユ、蒲葵扇一名芭蕉扇通雅

〔紀伊續風土記物産六上〕櫻櫛本草、和名抄種魯、

各郡皆あり、中にも那賀郡野上莊山奥より在田郡山保田莊邊に多くうゑて、其皮のまゝ、又繩となしたるを、諸國へ多く出す、其利甚大なり、